

事業概要

(令和6年度のまとめ)



京都府立図書館

目 次

I 概要

1 京都府立図書館の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 令和6年度のトピックス・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3 令和6年度の主な利用状況等・・・・・・・・・・	2

II 図書館資料

1 総資料・年間収集資料・・・・・・・・・・	3
(1) 総資料数	
(2) 年間収集資料数	
2 図書・・・・・・・・・・	3
(1) 資料数	
(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数	
(3) 視聴覚資料・障害者用資料数	
3 逐次刊行物・・・・・・・・・・	4
4 電子書籍・・・・・・・・・・	4

III 利用状況

1 開館日・・・・・・・・・・	5
2 入館者・・・・・・・・・・	5
3 新規利用登録者・・・・・・・・・・	5
4 ホームページアクセス・・・・・・・・・・	5
5 個人貸出・・・・・・・・・・	5
(1) 貸出者数	
(2) 貸出図書数	
(3) 借受提供数	
6 複写利用・・・・・・・・・・	6
7 調査相談等・・・・・・・・・・	6
(1) レファレンス	
(2) 他館紹介状発行	
(3) 他館所蔵資料複写	
(4) 当館所蔵資料郵送複写	
8 障害のある方へのサービス・・・・・・・・・・	6
(1) 対面朗読サービス	
(2) 点字・音声資料貸出	
(3) 視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」利用	
9 マルチメディア利用・・・・・・・・・・	7
10 図書館等への貸出・・・・・・・・・・	8
(1) 相互貸借	
(2) 機関貸出	
(3) 一括貸出（貸出文庫）	

11	学校への貸出・・・・・・・・・・・・・・・・	9
IV 事業		
1	市町村連携・市町村支援・・・・・・・・	10
	(1) 府内の各図書館とのネットワークの強化	
	(2) 連絡協力車	
	(3) 市町村立図書館等の研修等	
	(4) 京都府図書館等連絡協議会	
2	学校支援等・・・・・・・・	14
	(1) 学校支援セット	
	(2) 来館型調べ学習等	
	(3) 子どもへの読書活動支援事業・不登校児童生徒読書活動支援事業	
3	調査研究・課題解決支援及び情報発信・・・・・・・・	16
	(1) 大学連携	
	(2) 京都市図書館との図書相互返却	
	(3) 館内見学会	
	(4) 講演会・セミナー等	
	(5) 資料展示	
	(6) ナレッジベース（知的な交流の場）	
	(7) 地域連携	
	(8) 広報	
V	京都府立図書館協議会・・・・・・・・	22
VI 施設等		
1	施設及び設備等・・・・・・・・	23
2	組織・・・・・・・・	24
3	経費・・・・・・・・	24
VII 沿革		
1	年表・・・・・・・・	25
2	歴代館長・・・・・・・・	30
資	料・・・・・・・・	31
	・京都府立図書館基本方針（令和3年4月改定）	
	・京都府立図書館資料収集方針（平成28年12月改正）	
	・京都府立図書館サービス計画（令和3年3月策定）	

I 概要

1 京都府立図書館の概要

京都府立図書館（以下「府立図書館」という。）は、日本で最初の公立の図書館である「集書院」を源流とし、明治 31(1898)年に京都御苑内に設立され明治 42(1909)年に現在の岡崎の地に移転して以来、100 年を超える長い歴史と伝統を刻んでいる。

平成 7(1995)年の阪神・淡路大震災により建物が大きく損傷したため、ルネサンス風の外壁正面部を残して建替工事を進め、平成 13(2001)年に地上 4 階地下 2 階建の新館を開館した。この間に、京都府の社会教育委員会議から市町村立図書館との役割分担を打ち出した「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について」の提言を受け、明治の雰囲気を残した現在の建物で、特に市町村支援と調査研究支援を中心とする取組を進めてきた。

平成 27 年度に策定した「京都府立図書館基本方針」に基づき、5 か年ごとに「京都府立図書館サービス計画」（以下「サービス計画」という。）の中で新たな課題に直面する府民の知的活動の拠点となるとともに、府内全域に均質な図書館サービスを提供することにより、府民に期待される存在となることを目指した取組を進めている。

令和 6 年度はサービス計画（第 3 期）の 4 年目を迎え、図書館サービスのさらなる向上と様々な機関との連携の拡充に努めるとともに、様々な講演会や展示等を実施したところである。

【基本方針（サービス計画 第 3 期）】

- I 府内全域の図書館等をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します
- II 多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズに応えます
- III 大学等研究機関や文化施設等と連携するとともに、多様な議論の場を提供することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します

2 令和 6 年度のトピックス

府立図書館では、「府内全域の公共図書館等をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開」するという基本方針（令和 3 年度～7 年度サービス計画）に基づき、府内の市町村立図書館等との連携のほか、大学図書館と府内公共図書館との間で、京都府図書館総合目録ネットワーク（総合目録及び連絡協力車。K-Libnet）を活用した所蔵資料の相互貸借サービスを実施している。令和 6 年度は、新たに、花園大学情報センターと京都精華大学情報館とのサービスが始まり、花園大学情報センターは令和 7 年 1 月から、京都精華大学は令和 7 年 4 月から本格運用となった。

3 令和6年度の主な利用状況（貸出冊数）

区分	令和5年度	令和6年度
総 資 料 数	1,369,943 冊	1,379,688 冊
開 館 日 数	288 日	284 日
入 館 者 数	223,760 人	222,080 人
(1日平均)	(777 人)	(782 人)
新 規 利 用 登 録 者 数	4,094 人	4,119 人
ホ ー ム ペ ー ジ ア ク セ ス 件 数	404,276 件	373,994 件
個 人 貸 出 冊 数	165,216 冊	157,456 冊
(1日平均)	(574 冊)	(554 冊)
複 写 利 用 枚 数	136,692 枚	130,914 枚
調 査 相 談 件 数	15,955 件	15,367 件
マ ル チ メ デ ィ ア 利 用 者 数	42,079 人	42,951 人
図書館等への貸出冊数		
・府内市町村立図書館等	41,351 冊	41,924 冊
(うち相互貸借)	(21,895 冊)	(21,399 冊)
(うち機関貸出)	(89 冊)	(104 冊)
(うち貸出文庫)	(19,367 冊)	(20,421 冊)
・他府県立公共図書館・大学等	365 冊	251 冊
・学校図書館	22,684 冊	19,989 冊
(うち学校支援セット)	(17,017 冊)	(14,452 冊)
(うち機関貸出)	(5,667 冊)	(5,537 冊)
子ども読書支援事業による貸出	1,311 冊	1,762 冊
不登校児童生徒読書活動支援事業による貸出	200 冊	200 冊
京都府家庭支援総合センターへの貸出	300 冊	500 冊
ナレッジベース展示来場者数	3,303 人	4,449 人

京都市との返却本お預かりサービス

区分	令和5年度	令和6年度
京都市の本を府で返却	2,656 冊	2,940 冊
府の本を京都市で返却	10,315 冊	10,527 冊

Ⅱ 図書館資料

1 総資料・年間収集資料

(1) 総資料数	1,379,688 冊
うち図書	1,052,303 冊
うち逐次刊行物（図書換算）	327,385 冊
(2) 年間収集資料数	
図書（視聴覚資料を含む）	10,202 冊
逐次刊行物（購入分のみ）	356 タイトル

2 図書

(1) 資料数

令和6年度受入冊数

区分	計	購入	寄贈	その他
閲覧・貸出用	7,828	5,542	2,046	240
図書資料	7,649	5,394	2,029	226
視聴覚資料	179	148	17	14
貸出文庫等	2,374	2,274	99	1
合計	10,202	7,816	2,145	241

※視聴覚資料については、京都府立図書館システムによる集計点数を掲載

令和6年度末資料数

区分		児童書	京都資料	外国語資料
閲覧・貸出用	919,513	47,115	29,737	19,646
図書資料	894,547	47,115	29,737	19,646
視聴覚資料	24,966	0	0	0
貸出文庫等	132,790	100,501	0	0
合計	1,052,303	147,616	29,737	19,646

※外国語資料には、児童書及び京都資料の外国語資料を含む。

(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数

(単位：冊・%)

分類	令和6年度末冊数	百分比
0 総記	45,111	(4.9%)
1 哲学	46,419	(5.0%)
2 歴史	100,358	(10.9%)
3 社会科学	198,585	(21.6%)
4 自然科学	58,485	(6.4%)
5 技術	65,444	(7.1%)
6 産業	48,041	(5.2%)
7 芸術	69,954	(7.6%)
8 言語	16,857	(1.8%)
9 文学	173,420	(18.9%)
小計	822,674	(89.4%)
教科書	24,473	(2.7%)
児童書	46,773	(5.1%)
外国児童	342	(0.1%)
その他	25,251	(2.8%)
合計	919,513	(100.1%)

(3) 視聴覚資料・障害者用資料数

視聴覚資料

区分	令和6年度末
CD	858
CD-ROM	1,769
DVD	2,724
DVD-ROM	546
ビデオテープ	3,113
カセットテープ	890
マイクロフィルム	9,695
マイクロフィッシュ	3,730
デージー	1,641
合計	24,966

※視聴覚資料については、京都府立図書館システムによる集計点数を掲載

障害者用資料

(単位：点数)

区分	令和6年度末	摘要
大活字本	4,205	
点字図書	285	
カセットテープ	890	上の表の「カセットテープ」の再掲
デージー	1,641	上の表の「デージー」の再掲
合計	7,021	

※「カセットテープ」、「デージー」については、上記「視聴覚資料」欄の再掲

3 逐次刊行物

(単位：タイトル)

区分	令和6年度購入数
新聞	16
雑誌	340
合計	356

4 電子書籍等

(単位：タイトル・件)

区分	令和6年度末	利用状況
KinoDen	10,326	118,711
EBSCO	56	476
オーディオブック	7,636	1,528
合計	18,018	120,715

※EBSCOは約16,000タイトルの無料提供分の利用が可能

Ⅲ 利用状況

- 1 開館日 284 日
- 2 入館者 222,080 人 (1 日平均 782 人)
(1 日平均)
- 3 新規利用登録者 4,119 人 有効登録者累計 151,556 人
うち 京都市内 80.2%
その他府内 9.1%
他府県 10.7%
- うち 電子申請での登録件数 439 件
- 4 ホームページアクセス 373,994 件
- 5 個人貸出（利用登録を行っている人への貸出）
- (1) 貸出者数 延べ 60,556 人 (1 日平均 213 人)
- (2) 貸出図書数 157,456 冊 (1 日平均 554 冊)

(3) 借受提供数（他の図書館等から資料を借り受けて利用者に提供したもの）

借受先（府内）		借受冊数	摘要
府内	市町村図書館等	738	
府外	国立国会図書館	10	東京本館13冊、関西館9冊
	府外公立図書館	473	
	府外大学図書館等	8	
	府外小計	491	
合計		1,229	

※市町村立図書館等の内訳（単位：冊・％）

地域区分	借受冊数	百分比
京都市	50	(6.8%)
乙訓地域	58	(7.9%)
山城地域	274	(37.1%)
南丹地域	73	(9.9%)
中丹地域	97	(13.1%)
丹後地域	92	(11.8%)
その他	94	(12.7%)
合計	738	(99.3%)

6 複写利用

(単位：枚)

区分	利用枚数	摘要
図書資料	120,862	白黒 114,516枚、カラー 6,346枚
CD-ROM、外部データベース	4,138	
マイクロフィルム	2,952	
国立国会図書館デジタル化資料	2,317	
遠隔地複写	645	
合計	130,914	

・遠隔地複写は、遠隔地等の利用者（非来館者）に対して、当館所蔵資料の複写物を郵送するサービス

7 調査相談等

(1) レファレンス

(単位：件)

区分	件数
調査相談	14,653
マルチメディア相談	667
市町村・府立学校からの調査相談	47
合計	15,367

(2) 他館紹介状発行 13 件

(3) 他館所蔵資料複写 33 件

(4) 当館所蔵資料郵送複写 16 件

8 障害のある方へのサービス

(1) 対面朗読サービス

(単位：人・時間)

区分	利用者数	利用時間	(うちオンライン)
4月	12	24	24
5月	10	20	20
6月	11	22	22
7月	12	24	24
8月	11	22	22
9月	10	20	20
10月	12	24	24
11月	11	22	22
12月	12	24	24
1月	9	18	18
2月	9	18	18
3月	12	24	24
合計	131	262	262

(2) 音声資料貸出

(単位：点)

区分	テープ	CD	デイジー	合計
4月	0	0	21	21
5月	0	0	23	23
6月	0	0	26	26
7月	0	0	17	17
8月	0	8	22	30
9月	0	0	18	18
10月	0	0	27	27
11月	0	0	18	18
12月	3	0	21	24
1月	6	0	34	40
2月	5	0	9	14
3月	5	0	13	18
合計	19	8	249	276

(注) 他館への協力貸出を含む。

(3) 視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」利用

(単位：件)

区分	件数
コンテンツダウンロード利用	1,088
オンラインリクエスト受信（当館デイジー資料等の他館送付）	43
オンラインリクエスト送信（他館デイジー資料等の借受提供）	42
合計	1,173

9 マルチメディア利用

(単位：人)

利用区分	利用者数
インターネット閲覧端末	33,858
CD-ROM閲覧端末	120
AV（映像・音声）	5,479
外部データベース閲覧端末	2,528
マイクロフィルム閲覧端末	628
国立国会図書館デジタル化資料閲覧端末	338
合計	42,951

10 図書館等への貸出

(1) 相互貸借

貸出先	貸出冊数
市町村立図書館等 (※)	21,399
他府県立公立図書館・大学等	251
合計	21,650

・他府県立公共図書館・大学等には学校への貸出は含みません

※市町村立図書館等の内訳

(単位：冊・%)

地域区分	借受冊数	百分比
京都市	3,322	(15.5%)
乙訓地域	2,284	(10.7%)
山城地域	5,812	(27.2%)
南丹地域	3,049	(14.2%)
中丹地域	3,039	(14.2%)
丹後地域	3,525	(16.5%)
その他	368	(1.7%)
合計	21,399	(100.0%)

・市町村立図書館等を経由し小中学校へ貸し出した学校支援セット等は含まない。

(2) 機関貸出

(単位：冊)

貸出先	貸出冊数	摘要
府の機関	97	高校教育課
その他	7	
合計	104	

(3) 一括貸出 (貸出文庫)

(単位：冊)

区分	貸出冊数	摘要
貸出文庫	20,421	内訳は下表のとおり

※貸出内訳

(単位：冊)

貸出先	冊数	貸出先	冊数
大山崎町	485	宮津市	1,200
相楽東部広域連合	2,333	与謝野町	1,400
亀岡市	508	伊根町	7,279
南丹市	3,216	京丹後市	2,100
綾部市	1,050	京丹波町	500
福知山市	250	府立聾学校	100

11 学校への貸出

(単位：冊・セット数)

区分			貸出冊数	貸出セット数
学校支援 セット	府立学校版	市町（組合）立小中学校への貸出	755	34
		市町村立図書館等への貸出	62	3
		府立高等学校への貸出	2, 326	108
		府立特別支援学校への貸出	995	42
		総合教育センターへの貸出	40	2
		府立学校版 計	4, 178	189
	小中学校版	市町（組合）立小中学校への貸出	7, 870	254
		市町村立図書館等への貸出	779	18
		府立高等学校への貸出	725	23
		府立特別支援学校への貸出	729	23
		総合教育センターへの貸出	171	6
		小中学校版 計	10, 274	324
	小計		14, 452	513
機関貸出	市町（組合）立小中学校への貸出		97	
	府立高等学校への貸出		4, 178	
	府立特別支援学校への貸出		287	
	総合教育センターへの貸出		963	
	私立学校への貸出		12	
	小計		5, 537	
合計			19, 989	

IV 事業

1 市町村連携・市町村支援

府立図書館は、府内の市町村立図書館・読書施設（以下「市町村立図書館等」という。）・大学図書館等と連携し各図書館が所蔵する資料が一括して検索できるとともに、資料の相互貸借及びその資料を運ぶ「連絡協力車」の運行等を行う京都府図書館総合目録ネットワーク（以下「K-Libnet」という。）を運営・管理している。

総合目録とは、複数の図書館の蔵書目録を統合した目録をいう。連絡協力車は、市町村立図書館等の利用者が必要とする図書等を搬送するために府立図書館が運行しているもので、南北に長い府域における図書サービスの地域間格差の解消に努めている。また、総合目録や相互貸借をシステムの管理するための「K-Libnet システム」を管理している。

連絡協力車は、全ての市町村立図書館等及び府立学校、K-Libnet に参加する大学図書館、国立国会図書館関西館、府立京都学・歴彩館、京都ライトハウス情報ステーション、京都府議会図書館、文化庁図書室を巡回している。

相互貸借は、総合目録で検索した他の図書館の図書資料を身近な図書館で利用することができる仕組みで、連絡協力車で資料と取寄せた場合、利用者は、送料を負担することなく借受することができる。このような取り組みで、府内のどこに住んでいても、身近な図書館で図書館サービスを楽しむことができるよう努めている。

(1) 府内の各図書館とのネットワークの強化

連絡協力車については、平成 29 年度からは、市町村立図書館等及び K-Libnet に参加している大学図書館には週 2 回巡回している。また、令和元年度からは、全府立学校に巡回して、府立図書館から図書資料を借受する場合の運搬を行っている。K-Libnet の参加方式は、次の区分のとおりである。参加機関は 104 機関（令和 7 年 4 月 1 日現在）となっている。

京都府図書館総合目録ネットワーク参加館の区分

区分	摘要
A 参加館	京都府図書館総合目録に自館の蔵書データを提供し、他の参加館と相互協力を行う館（図書の所蔵データを「京都府図書館総合目録」で検索できる館） 蔵書データの提供方法によって以下のとおりの区分がある。
	横断検索館 総合目録からの横断検索に対応し、リアルタイムで自館の蔵書データを提供する館
	データ提供館 総合目録に定期的に自館の蔵書データを直接送信して提供する館
	CiNii 検索館 CiNiiBooks に参加し、総合目録から CiNiiBooks への横断検索によって自館の蔵書データを提供する館
B 参加館	総合目録への自館の蔵書データの提供は行わないが、K-Libnet システムを利用して他の参加館との相互協力を行う館
C 参加館	府立の教育機関等

京都府図書館総合目録ネットワーク参加館一覧（令和7年4月1日現在）

図書館・読書施設の名称	A参加館			B参加館	C参加館
	横断 検索館	データ 提供館	CiNii 検索館		
1 府立図書館〔センター館〕	○				
2 府立京都学・歴彩館	○				
3 京都市図書館（20館）	○				
4 向日市立図書館	○				
5 長岡京市立図書館	○				
6 大山崎町立中央公民館図書室	○				
7 宇治市中央図書館（3館）	○				
8 城陽市立図書館	○				
9 久御山町立図書館	○				
10 八幡市立八幡市民図書館	○				
11 京田辺市立中央図書館	○				
12 井手町図書館	○				
13 宇治田原町立図書館		○			
14 木津川市立中央図書館（3館）	○				
15 精華町立図書館	○				
16 笠置町図書室				○	
17 和束町体験交流センター図書室	○				
18 南山城村図書室				○	
19 亀岡市立図書館中央館	○				
20 南丹市立中央図書館（4館）	○				
21 京丹波町図書館中央館（4館）※	○			○	
22 綾部市図書館	○				
23 福知山市立図書館中央館（4館）	○				
24 舞鶴市立図書館（2館）	○				
25 宮津市立図書館	○				
26 与謝野町立図書館（3館）	○				
27 伊根町文化振興・多世代交流施設（伊根の杜）（2館）	○				
28 京丹後市立図書館（6館）	○				
29 京都ライトハウス情報ステーション	○				
30 京都先端科学大学図書館			○		
31 京都大学附属図書館			○		
32 京都教育大学附属図書館			○		
33 福知山公立大学メディアセンター			○		
34 佛教大学附属図書館			○		
35 京都府立医科大学附属図書館			○		
36 京都工芸繊維大学附属図書館			○		
37 京都府立大学附属図書館			○		
38 京都ノートルダム女子大学図書館情報センター			○		
39 京都橘大学図書館			○		
40 京都外国語大学付属図書館			○		
41 京都女子大学図書館			○		
42 花園大学情報センター			○		
43 京都精華大学情報館			○		

44	京都府総合教育センター・同北部研修所					○
45	京都府議会図書館					○
46	文化庁図書室					○
47	府立学校 58 校（全 46 高等学校、全 12 特別支援学校）					○

※京丹波町図書館中央館は、中央館を含めて 3 館が A 参加館、1 館が B 参加館

(2) 連絡協力車

府内の市町村立図書館等との相互貸借図書や府立学校への図書の搬送等のため、毎週連絡協力車を運行している。

なお、京都市図書館とは週 5 回（双方の休館日を除く）、京都市のブックメール便が府立図書館に巡回している。

連絡協力車の巡回機関（令和 7 年 4 月 1 日現在）

区分	摘要
公共図書館等	市町村立図書館・読書施設（全 26 市町村）
大学図書館	京都先端科学大学図書館 京都大学附属図書館 京都教育大学附属図書館 福知山公立大学メディアセンター 佛教大学附属図書館 京都府立医科大学附属図書館 京都工芸繊維大学附属図書館 京都府立大学附属図書館 京都ノートルダム女子大学図書館情報センター 京都橘大学図書館 京都外国語大学付属図書館 京都女子大学図書館 花園大学情報センター 京都精華大学情報館
連携機関	国立国会図書館関西館 府立京都学・歴彩館 京都ライトハウス情報ステーション 京都府議会図書館 文化庁図書室
府立学校等	府立学校 58 校（全高等学校、特別支援学校） 京都府総合教育センター、同北部研修所

図書の搬送実績

	区分	搬送冊数	摘要
府内相互貸借	当館⇒市町村立図書館等	21,399 冊	
	市町村立図書館等⇒当館	737 冊	
	市町村立図書館間	39,041 冊	
府立学校等機関貸出	当館⇒府立学校等	4,465 冊	総合教育センター含む
京都府議会図書館	当館⇒京都府議会図書館	658 冊	
文化庁図書室	当館⇒文化庁図書室	305 冊	
学校支援セット貸出	府立学校・市町村立図書館等	14,452 冊	直送含む
合計		81,057 冊	

(3) 市町村立図書館等の研修等

市町村立図書館等に勤務する職員の資質向上のため、研修を毎年度実施している。

令和6年度は相互協力初任者研修とレファレンスに関する初級・中級の研修をそれぞれ開催した。

また、市町村立図書館等の職員が身近な会場で研修に参加できるよう、府立図書館の職員が講師として市町村立図書館等に出向いて行う出前研修を、平成30年度から実施している。令和6年度は、市町村立図書館等のニーズを踏まえ5回開催した。

このほか、府立図書館の職員が市町村立図書館等を訪問し、相談や情報交換を行う職員巡回を、2回実施した。そのうち、2回目の職員巡回はオンラインで実施した。

研修実績

日程	名称	内容	会場
6月6日(木)	相互協力初任者研修	相互貸借担当者説明	府立図書館
7月26日(金)	出前研修	業務入門	伊根の杜
8月29日(木)	出前研修	本の修繕	京丹波町図書館中央館
9月3日(火)	出前研修	レファレンス	京丹後市立峰山図書館
9月4日(水)	レファレンス研修(初級)	レファレンス	府立図書館
10月11日(金)	レファレンス研修(中級)	レファレンス演習	府立図書館
10月31日(木)	出前研修	レファレンス	精華町立図書館
1月24日(金)	出前研修	業務入門	京田辺市立中央図書館

(4) 京都府図書館等連絡協議会

「京都府図書館等連絡協議会」(以下「京図連協」という。)は、本府における図書館事業等の振興及び相互の協力を図ることを目的とする組織であり、全26市町村の市町村立図書館等をはじめとする府内の48施設で構成されている。

京図連協では、研修研究事業・相互協力事業・広報事業など、府内一円での図書館サービスの向上に向けた取組を毎年度実施しているほか、「京都図書館大会」の実行委員会に参画したり、京都府教育委員会と共催で「子ども読書本のしおりコンテスト」を開催したりするなど、他機関との連携にも努めている。

令和6年11月18日に開催した京都図書館大会は、「地域資料の拠点たる図書館へ」をテーマに開催され、後日、期間限定で動画が配信された。大会参加者は103人、後日配信動画視聴数は、基調講演が192回、事例発表が209回、フリートークが78回であった。「有用な知見を得る良い機会だった」、「館種の違う各々の話を聞かせてもらって興味深かった」との感想をいただいた。また、対面と後日配信の両方を行った開催形式については、「会場参加がベストだが、後日配信があるとありがたい」などのコメントが寄せられた。

2 学校支援等

(1) 学校支援セット

「学校支援セット」は、調べ学習や読書、教室や学校図書館等での展示・貸出などに活用する本のセットである。府立図書館で環境や文化、仕事や防災等のジャンル・テーマごとに数十冊をセットにし、府内の小・中学校及び府立学校にセット単位で最大 14 週間学校に貸し出す取組である。平成 20 年度に開始し、毎年、セット内容の充実と利便性の向上に努めている。

市町村立小中学校へは、近隣の市町村立図書館等で申込みいただき、連絡協力車により市町村立図書館等へ搬送している。府立学校へは、府立学校が K-Libnet で申込みを行い、連絡協力車により搬送している。いずれも送料を含め無料で利用できる。

令和 6 年度は、京都府総合教育センターと連携を図り、絵本セットの種類や保有数を充実した。

なお、学校支援セットとは別に、学校の希望に応じて 1 冊単位で図書を貸し出す「機関貸出」も実施している。

学校支援セットの内容（令和 7 年 4 月 1 日現在）

区分	ジャンル
府立学校版	環境／医療・福祉／教育／文化／社会／仕事／自然科学／芸術／ヤングアダルト／新学習指導要領対応／ミニ版／切り抜き速報／特別支援教育・絵本／特別支援教育・教員用
小中学校版	環境／古典／ことば・読み物／食育・健康／福祉・人権／国際理解／仕事／自然科学／防災／歴史・社会／国語教科書掲載作品／芸術・スポーツ／よみもの／新学習指導要領対応／特別支援教育・絵本／特別支援教育・教員用

(2) 来館型調べ学習等

学校支援事業の一環として、小・中学生、高校生、大学生、専門学校生の館内見学について受け入れているほか、学生・生徒の探究型学習を支援することを目的に、館内見学や府立図書館の資料等を活用した調べ学習（探究型学習）、図書館の利用促進に資する団体の視察を受け入れている。

来館型調べ学習等の受入内容

主な対象	内容
府内の小学校、中学校、高等学校、及び特別支援学校の児童生徒	【図書館見学】 定例で行っている館内見学会のほかに館内見学会の希望がある場合に行う館内見学
府内の高等学校、大学、及び専門学校の生徒又は学生	【調べ学習】 館内を見学し、図書館の利用法や資料の探し方の説明を受けた後、それぞれのテーマに沿って、府立図書館の資料を利用した調べ学習・探求型学習を行う。
図書館の利用促進に資する団体	【視察等】 府立図書館の活用を促進するため、館内見学を実施するほか、視察に対応する。

来館型調べ学習等の受入実績（令和 6 年度）

小学校	中学校	高校	大学等	団体等	合計
2 校 31 人	1 校 18 人	2 校 41 人	2 校 75 人	2 団体 37 人	9 団体 202 人

(3) 子どもへの読書活動支援事業・不登校児童生徒読書活動支援事業

様々な課題（生活困窮世帯・ひとり親家庭等）を抱える子どもが夢や希望を持って成長していけるように、「子どもへの読書活動支援事業」を実施している。府立図書館が所蔵している子ども向けの図書約 13 万冊を、京都府が実施している事業の支援を受け、「こどもの居場所づくり」や「子ども食堂」に取り組んでいる団体に、1 回あたり 100 冊以内 6 箇月以内で、搬送費を含め無料で図書を貸し出した。令和 6 年度の実績は、14 団体に 1,762 冊となった。

また、学校外の教育支援センター・適応指導教室や京都府教育委員会認定フリースクールに通所する児童生徒の読書活動の機会を充実していくために、市町村立図書館等と連携して実施する「不登校児童生徒読書活動支援事業」について、府立図書館ではフリースクールに 1 回あたり 100 冊 6 箇月以内で図書を貸し出している。

令和 6 年度は 1 校のフリースクールに 200 冊貸し出した。なお、貸出に当たっては児童生徒、スタッフが来館し、自ら選書を行った。

3 調査研究・課題解決支援及び情報発信

(1) 大学連携

大学が所蔵する専門的な資料を府民が身近な図書館で閲覧できるよう、また、府立図書館や市町村立図書館等が所蔵する資料を大学の学生や教職員が大学図書館で閲覧できるよう、大学図書館との連携を図り、京都府図書館総合目録ネットワーク（総合目録及び連絡協力車）を活用した所蔵資料の相互貸借を行っている。

これにより、京都府総合目録で、K-Libnet に参加する大学図書館の所蔵資料を検索し、居住地に近い市町村立図書館等に取り寄せて閲覧することができる。K-Libnet に参加する大学の学生や教職員等は、府立図書館や市町村立図書館等の所蔵資料（地域の郷土資料、専門書の多い大学図書館には所蔵されていない一般書等）を大学図書館の窓口で借りることができる。なお、府立図書館が運行する連絡協力車で資料を搬送していることから、資料の送料が不要である。

また、大学の授業の一環として実施されるキャリア演習、図書館司書を目指す学生の実習やインターンシップを受け入れるなど、様々な形で大学との連携を図っている。

府内の大学図書館との相互貸借の実施状況（令和7年4月1日現在）

大学図書館名	開始時期等
京都先端科学大学図書館	(従前から実施)
京都大学附属図書館	平成 28 年 7 月 相互貸借試行開始 平成 29 年 10 月 協定締結（本格実施）
京都教育大学附属図書館	平成 29 年 3 月 協定締結 平成 29 年 4 月 相互貸借開始
福知山公立大学メディアセンター	平成 29 年 6 月 相互貸借試行開始 平成 30 年 4 月 協定締結（本格実施）
佛教大学附属図書館	平成 29 年 9 月 相互貸借試行開始 平成 30 年 4 月 協定締結（本格実施）
京都府立医科大学附属図書館	平成 30 年 2 月 相互貸借試行開始 平成 30 年 4 月 協定締結（本格実施）
京都工芸繊維大学附属図書館	平成 30 年 10 月 協定締結（本格実施）
京都府立大学附属図書館	平成 31 年 3 月 相互貸借試行開始 平成 31 年 4 月 協定締結（本格実施）
京都ノートルダム女子大学図書館情報センター	令和元年 12 月 相互貸借試行開始 令和 2 年 4 月 協定締結（本格実施）
京都橘大学図書館	令和 2 年 1 月 相互貸借試行開始 令和 2 年 4 月 協定締結（本格実施）
京都外国語大学附属図書館	令和 2 年 12 月 相互貸借試行開始 令和 3 年 6 月 協定締結（本格実施）
京都女子大学図書館	令和 3 年 4 月 相互貸借試行開始 令和 4 年 4 月 協定締結（本格実施）
花園大学情報センター	令和 6 年 4 月 相互貸借試行開始 令和 7 年 1 月 協定締結（本格実施）
京都精華大学情報館	令和 6 年 4 月 相互貸借試行開始 令和 7 年 4 月 協定締結（本格実施）

(2) 京都市図書館との図書の相互返却

府立図書館で借りた図書を京都市図書館（20 館）で、京都市図書館で借りた図書を府立図書館で返却を預かる「京都市図書館との返却本お預かりサービス」を、平成 29 年 11 月から実施している。令和 6 年度は 13,467 冊（令和 5 年度 12,971 冊）の利用があった。

(3) 館内見学会

府立図書館では、館内見学会を、毎月第 3 水曜日の午後 2 時から定期的に行っている。

見学会での主な説明内容は次のとおり。

- ア 「関西近代建築界の父」と呼ばれ、京都市役所や同志社大学も手がけた武田五一により設計された旧館の外壁や外階段を保存修理して新館建替を行ったこと。
- イ 都道府県立図書館では府立図書館が初めて導入した自動化書庫と地下 2 階 4 層からなる電動積層集密書庫に、開架資料の 10 倍以上の膨大な資料を収めていること。
- ウ 書庫の資料の中には、教科書や映画のシナリオなどのコレクションが含まれていること。
- エ 来館者向けサービスの他に、市町村立図書館等や学校への支援を行っていること。

参加者からは、普段は見るできない図書館のバックヤードや自動化書庫等の見学を通じて「自動化書庫の大きさと設備に驚いた。」「古い教科書や雑誌など幅広いジャンルの資料があって驚いた。」「バックヤードの見学は貴重であった。府立図書館には様々な機能があり、府内の学校や図書館と連携しているのが印象的だった。」「市町村立図書館を支援していることを初めて知った。」などの感想が寄せられ、府立図書館を知ってもらふ取組となっている。

(4) 講演会・セミナー等

多くの方々に府立図書館を知ってもらうとともに、来館されることがない方にも親しんでいただくなど、府立図書館を広く利用いただくことを目的に、これまでから、学識経験者、博物館、大学や府立高校と連携した様々なイベントや講座、セミナー、展示を開催している。

講演会

開催日	講師及び演題
4月13日(土)	演題：図書館健康講座 看護師と一緒に考える生き方と死に方 ～人生観は死生観～ 講師：看護師 大野 みすず氏
5月25日(土)	演題：紫式部と藤原道長 講師：古代学協会理事長・同志社女子大学名誉教授 龐谷 壽氏
6月16日(日)	演題：図書館健康講座 薬剤師に聞きたいくすりの話 講師：薬剤師 竹内 雅代(たけうち まさよ)氏
7月20日(土)	演題：島で生まれて島育ち 大陸逃れてまた島へ ～小泉八雲ラフカディオ・ハーン没後120年～ 講師：京都外国語大学附属図書館長 樋口 穰氏 備考：京都外国語大学附属図書館と共催
10月6日(日)	演題：図書館健康講座 がん相談センターってどんなところ？ 講師：府立医大附属病院がん相談支援センター 社会福祉士 関口 由紀子(せきぐち ゆきこ)氏 臨床心理士・公認心理師 里見 志穂(さとみ しほ)氏
12月8日(日)	トークイベント「読みたい！をかなえる方法 - 視覚障害者の読書から考える -」 出演：清水 真弓(しみず まゆみ)氏(Yonde!プロジェクト) 田村 恵子(たむら けいこ)氏(Yonde!プロジェクト) 島村 聡明(しまむら としあき)(京都府立図書館職員) 仁科 豪士(にしな つよし)(京都府立図書館職員) ファシリテーター：朴 鈴子(パク リョンジャ)氏(CONNECT事務局)
2月15日(日)	演題：藤原道長と法成寺 ーみやびとうつわー 講師：松井 忍(まつい しのぶ)氏(京都府埋蔵文化財調査研究センター調査課調査員)

DVD上映会

京都をテーマとした作品や、幅広い年齢の方にご覧いただける作品を上映。

開催日	内容
5月25日(土)	『源氏物語～悠久の舞台をめぐる～』
7月27日(土) 8月3日(土) 8月10日(土) 8月17日(土)	『ナショナルジオグラフィック』
12月6日(土)	『日本のアウトサイダーアート 文字という快楽』
3月15日(土)	『京 KYOTO-Heart of JAPAN』 『千年桜』

イベント・展示等

開催日	実施内容	会場
4月27日(土)～ 5月6日(月)	第12回子ども読書本のしおりコンテスト入賞作品展示	ナレッジベース
6月28日(金)～ 7月24日(水)	京都外国語大学附属図書館・京都府立図書館共催稀観書展示会「小泉八雲 LAFCADIO HEARN 美文の世界を生きたひと」	ナレッジベース
11月9日(土)～ 12月15日(日)	「CONNECT ₂ 」(コネクト)(文化庁・京都新聞主催)のプログラム「明治・大正期の府立図書館アート展」	ナレッジベース
11月11日(金)～ 11月13日(日)	京都モダン建築祭(関連展示)	1階閲覧室
7月24日(水) 11月27日(水)	京都府立図書館・日本政策金融公庫共催企画創業相談会	マルチメディアインテグレーション室
2月7日(金)～ 3月12日(水)	京都府埋蔵文化財センター連携展示「藤原道長と法成寺一みやびとうつわー」	ナレッジベース

(5) 資料展示

「思いがけない本との出会い」を演出するため、イベントとのコラボレーション、京都に関すること、季節の話題、時事問題等をテーマとして、関連する府立図書館の所蔵資料を一箇所集めた展示を通年にわたり実施した。

作成したブックリストは展示終了後も館内やホームページで提供し、レファレンス等にも活かしている。

所蔵資料テーマ展示

展示タイトル	期間	関連イベント等
1階展示ケース		
比叡山麓の縄文世界	3月～5月	京都大学総合博物館連携
紫式部	5月～7月	
かつての遊園地	7月～9月	
災害・地震について	9月～11月	
広告からみる京都	11月～1月	
教科書からみえる～尋常小学校の教育～	2月～3月	
当館所蔵資料にみる国際博覧会の歴史	3月～5月	
地下特設コーナー		
支援のかたち	3月～5月	
お金にまつわるエトセトラ	5月～7月	
パリ・京都 みやこくらべ	7月～9月	
平安前期の物語	9月～11月	
はじまりは『京都府画学校』-そして現在は「京都市立芸術大学」-	10月～11月	京都市立芸術大学連携展示
新幹線の軌跡	11月～1月	
絵入り読み物 黄表紙	2月～3月	
博覧会と京都	3月～5月	
ミニコーナー		
言語学の入門書	3月～4月	美術コーナー展示
パンの日	3月～4月	

愛鳥週間	5 月	
スタジオジブリ関連図書展示	5 月～6 月	視聴覚資料関連展示 美術コーナー展示
海	7 月	美術コーナー展示
祇園祭	7 月	
しごとをつくる・かんがえる	8 月～9 月	日本政策金融公庫連携展示
追悼 松岡正剛	8 月～9 月	
防災特集	9 月～3 月	美術コーナー展示
逃げ上手の若君	9 月～10 月	京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）連携
本をつくる仕事	10 月～11 月	
追悼 谷川俊太郎	11 月～12 月	
著名人たちが愛した京都	11 月～12 月	
ともにいきる	11 月～12 月	
巳（み）を知る	1 月	
イタリア美術の世界	1 月	
マクドナルドハウス関連展示	2 月	
平安神宮～創建 130 年～	2 月～3 月	
京都でふれるアイヌ文化	2 月～3 月	国立アイヌ民族博物館連携 展示
講演会関連展示		
講演会「小泉八雲 LAFCADIO HEARN 美文の世界 を生きたひと」関連資料	6 月～7 月	
講演会「藤原道長と法成寺～みやびとうつわ ～」（講演会連動展示）	2 月～3 月	
2 階展示		
北陸 4 県 ～福井・石川・富山・新潟～	3 月～5 月	
全部出します！所蔵資料一括展示 第 1 弾『プ ロジェクト X ～挑戦者たち～』	6 月～7 月	1 階には図書展示
全部出します！所蔵資料一括展示 第 2 弾『ナ ショナルジオグラフィック』	7 月～9 月	ナレッジベースにて雑誌展 示。上映会連携展示
スクリーンの中の装い	9 月～11 月	
映像で考える共生社会へのヒント	11 月～1 月	CONNECT 連携展示
映像の中の平安神宮～創建 130 年を迎えて～	2 月～3 月	ミニコーナー連携展示
EXPO' 70 の時代－大阪万博の頃－	3 月～5 月	1 階展示ケース・地下特設コ ーナー連携展示
2 階ミニ展示		
愛を絵筆にたくして #ちひろ美術館（私の美術 館 5）	8 月	
追悼 高石ともや『宵々山コンサート』	8 月	
追悼 アランドロン『仁義』	8 月	
真田広之	9 月	
追悼 西田敏行『敦煌』	10 月	
『平成細雪』	12 月	
『KYOTO 日本の心 Heart of Japan』	12 月	
デビット・リンチ監督追悼	1 月	

(6) ナレッジベース

知的な交流の場の活動拠点として、平成 29 年度に 2 階会議室を「ナレッジベース」と名付け運用を開始し、様々な機関との連携を積極的に推進している。

令和 6 年度においても、引き続き、他機関との連携展示（京都外国語大学附属図書館、京都府埋蔵文化財センター）、及び岡崎の文化施設の連携によるイベント「CONNECT」での展示会を行い、それぞれの特性ある資料の展示や解説により、普段の来館者とは異なる人々に訴求力ある催しができた。

(7) 地域連携

京都有数の観光地である岡崎に立地する府立図書館は、「京都岡崎魅力づくり推進協議会」に加盟している。近隣の文化施設等と連携した様々な取組を展開、館内には近隣施設のチラシの配架、観光情報コーナーなどを設置している。特に、近接する京都市京セラ美術館、京都国立近代美術館等については、主な展覧会の時期に合わせて所蔵資料テーマ展示を行っているほか、過去の図録を集めたコーナーも設置している。

(8) 広報

府立図書館は明治の面影を残す「歴史ある図書館」として知られており、マスコミ各社へ積極的に新規事業やイベント、展示に関する情報提供を行った。

また、令和 3 年 3 月から SNS を活用し若年層や新たな利用者に向け積極的に情報発信するとともに、令和 5 年度からは、『集書院 150 年記念展』を契機に YouTube での発信も開始している。

(9) 職員研修

令和 6 年 9 月 26 日の休館日に、府立図書館の新館設計士による説明を受け、歴史的背景等を学んだ。

V 京都府立図書館協議会

1 概要

京都府立図書館協議会は、京都府立図書館条例に基づき、平成 29 年 4 月 1 日付けで設置された。「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる」（図書館法第 14 条）機関であり、当館の場合は、あわせて府内の図書館振興についても御意見をいただいている。

図書館法第 7 条の 3 に定める評価に当たっては、外部有識者の知見を活用する仕組みとして、図書館協議会を設置することで、府立図書館による内部評価と外部有識者による外部評価を両輪として計画の進捗状況について毎年度点検を行っている。これにより、府立図書館の運営の改善を図り、府内の図書館サービスの向上に努めている。

2 委員

（令和 7 年 7 月現在 50 音順・敬称略）

氏 名	所 属 ・ 役 職 等
安達 佳代子	与謝野町立加悦小学校 校長
荒田 和子	京都府立向陽高等学校 校長
伊澤 慎一	シンク・アンド・アクト株式会社 共同代表取締役
大塚 正広	京都府図書館等連絡協議会 会長
桂 まに子	京都女子大学 講師
潮江 宏三	京都岡崎魅力づくり推進協議会 代表
永田 紅	歌人
西村 明彦	京都府立大学 学生
原田 隆史	八洲学園大学 教授
松下 亜樹子	京都新聞社 編集局次長兼報道部長

3 開催状況（令和 6 年度）

	開催日	内容
第 1 回	令和 6 年 7 月 11 日（木）	・ 令和 5 年度取組に係る内部評価について ・ 令和 6 年度事業計画について
第 2 回	令和 7 年 3 月 4 日（火）	・ 令和 6 年度取組に係る内部評価について ・ 令和 7 年度事業計画（案）について ・ その他

VI 施 設 等

1 施設及び設備等

(1) 所在地等

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 71 番地

(平成 28 年 9 月 30 日改正条例公布、平成 29 年 4 月 1 日施行)

TEL : 075-762-4655 FAX : 075-762-4653 H P : <https://www.library.pref.kyoto.jp/>

(2) 開館日

平成 13 年 5 月 11 日 (建替による新館開館。府立図書館設置は明治 31 年)

(3) 建築費

617,415 万円 (外構工事・設備・家具等含む)

(4) 収蔵規模

約 150 万冊 (令和 5 年度末資料数 約 136 万冊)

・書架 (1,710 m²) 約 10 万冊

・書庫 (1,776 m²) 電動積層集密書庫約 100 万冊 自動化書庫約 40 万冊

(5) 利用者端末 (令和 7 年 4 月現在)

蔵書検索

・当館蔵書検索用端末 (O P A C) 15 台

・他館蔵書検索用端末 5 台

データベース

・データベース閲覧端末 8 台

・新聞記事データベース閲覧端末 5 台

・C D - R O M 閲覧端末 2 台

国会デジタル

・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス閲覧端末 4 台

インターネット

・インターネット閲覧端末 14 台

・インターネット等受付用端末 2 台

その他マルチメディア等

・マイクロリーダー 3 台

・映像ブース 6 台

・音声ブース 2 台

・障害者サービス用端末 3 台

・オーディオブース 1 台

(6) 開館時間

火曜日～金曜日：午前 9 時 30 分～午後 7 時

土・日曜日、祝日：午前 9 時 30 分～午後 5 時

(7) 休館日

月曜日 (祝日及び振替休日は開館、翌日が休館)

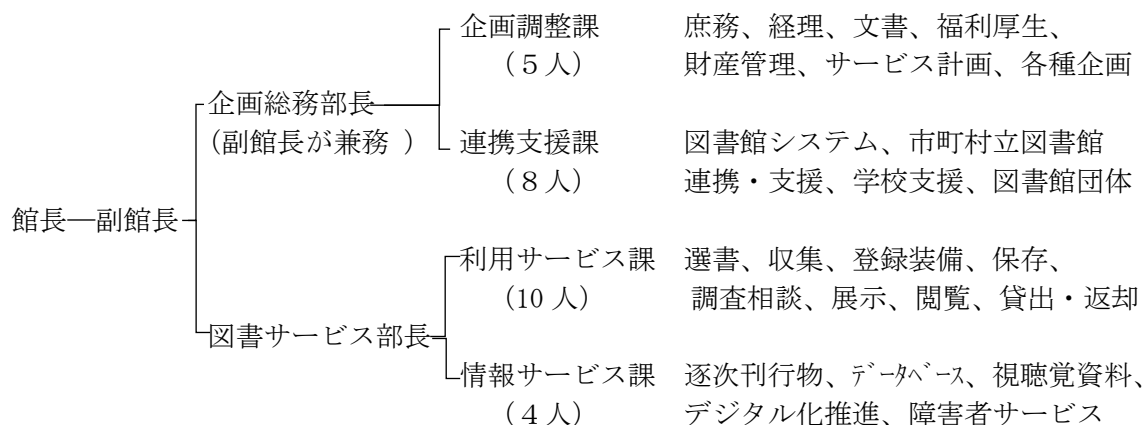
毎月第 4 木曜日 (祝日は開館)

年末年始、特別整理期間

2 組織【令和7年4月1日現在】

常勤職員 28 人

非常勤職員 20 人（館長 1 人・再任用短時間勤務 2 人・会計年度任用職員 17 人）



3 経費

（単位：千円）

科 目	事 項	6 年度 決算額	摘 要
1 図書館費	人件費	282,243	
	資料費	29,467	図書 23,707 逐次刊行物 5,760
	事業費	167,691	
	小 計	479,401	
2 図書館費外	事業費	90	事務局費/教育連絡調整費
合 計		479,491	

Ⅶ 沿革

1 年表

明治31年(1898) 4月	府立京都図書館御苑内創立	昭和25年(1950) 7月	峰山地方分館開館(奥丹後地方教育局内、昭和30年6月(丹波公民館内)、同37年9月(丹波小学校内)、同55年4月(峰山町中央公民館内)移転、平成9年3月閉館)
〃 6月	業務開始	〃 8月	学生自由閲覧室新設
33年(1900)	夜間開館開始	〃 11月	京都府立図書館設置条例公布(条例第62号)
36年(1903)10月	巡回図書館(貸出文庫)制度開始(昭和25年3月廃止)	26年(1951) 4月	上京分館開館(北区紫郊会館内、昭和31年5月(桜谷文庫内)移転、同51年5月閉館)
38年(1905) 4月	児童室開設(大正14年3月閉鎖)	〃 9月	本館大閲覧室屋根修理着工休館
39年(1906) 6月	館外貸与規則制定告示	〃 10月	本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
〃 11月	新館起工式	〃 11月	本館大閲覧室安全開架式化
42年(1909) 2月	新館竣工	〃 12月	本館新体制で開館
〃 3月	京都府立京都図書館規則告示	27年(1952) 6月	本館読書相談係設置
〃 4月	新館開館	〃 7月	園部地方分館開館(園部町立図書館内、昭和41年11月閉館)
大正 8年(1919) 1月	本館図書分類目録編纂に着手	北桑田地方分館開館(京北町下中、昭和54年8月(京北農業協同組合弓削支所内)仮移転、同55年3月閉館)	
11年(1922) 4月	貸出文庫を増設	木津地方分館開館(旧役場内、昭和29年7月(木津小学校内)、同38年5月(町民センター内)移転、同50年3月閉館)	
昭和 3年(1928) 3月	帯出規程告示	28年(1953) 4月	本館月曜日休館を実施
〃 4月	個人貸出実施	29年(1954) 2月	伏見分館新築工事着工
〃 6月	和漢図書分類目録分類表12冊作製	〃 9月	京都府立図書館「善本目録」作製
8年(1933)10月	京都府中央図書館に指定	30年(1955) 9月	青年学級文庫実施
16年(1941) 5月	児童室復活開室(昭和23年4月元貴賓室に移転)	32年(1957) 6月	中京分館(河原町分館改称)開館(烏丸庁舎内、昭和40年1月(京一商同窓会館)仮移転、同40年11月(京都府中京庁舎内)移転、平成13年3月閉館)
22年(1947) 8月	館外貸出廃止	35年(1960)10月	中京分館館外貸出実施
23年(1948) 9月	読書ルーム開設(河原町丸善京都店地下)	38年(1963) 3月	本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖、蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
24年(1949) 4月	読書相談開始		
〃 6月	河原町分館開館(河原町丸善京都店地下、昭和31年9月閉館)		
25年(1950) 2月	伏見分館開館(伏見信用金庫2階、昭和29年7月移転、同63年3月閉館)		
〃 6月	宮津地方分館開館(宮津町役場内、昭和28年4月(宮津市図書館内)、同32年10月(労働セツルメント内)、同39年5月(宮津市立図書館内)、同46年8月(新宮津市立図書館内)移転、平成9年3月閉館)		
昭和25年(1950) 7月	綾部地方分館開館(綾部市立図書館内、昭和38年7月(市民センター内)移転、同41年9月閉館)		

昭和38年(1963) 11月	本館日曜・土曜午後・夜間休館	昭和58年(1983) 3月	「京都府の公共図書館」刊行
〃 12月	児童室土・日曜休室		伏見分館ブックポスト設置
39年(1964) 1月	本館外装改修工事	〃 6月	図書館協力貸出本格実施
〃 5月	本館夜間・土曜午後再開(9時まで)、貸出室設置	〃 7月	新着図書案内発行
	児童室館外貸出実施、土曜日開室	59年(1984) 12月	連絡協力車試験的運行開始(2コース)
	伏見分館館外貸出実施	60年(1985) 7月	国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
〃 7月	市内分館日曜日休館	61年(1986) 8月	京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問
40年(1965) 7月	児童室に母親文庫設置	〃 12月	昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
〃 9月	京都府教育委員会基本規則一部改正	62年(1987) 10月	国立国会図書館とオンライン実施
	教育庁係等設置規程一部改正により課制施行	63年(1988) 3月	「京都府の公共図書館1987年版」刊行
41年(1966) 11月	自動車文庫命名式(蜷川知事「あゆみ号」と命名)	〃 10月	図書館資料広域貸出事業開始
	移動図書館事業開始(平成2年12月終了)		「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」を京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
42年(1967) 7月	本館修繕工事	平成 2年(1990) 3月	「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
〃 9月	貸出室移転再開	〃 4月	連絡協力車事業本格実施
44年(1969) 12月	本館夜間閉館時間を7時に変更	〃 6月	機構改正により本館は4課組織に
46年(1971) 8月	本館貸出室の図書を閲覧室に統合、第2閲覧室開室	3年(1991) 3月	本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室等配置換)
	貸出方式をブラウン方式に切替	〃 6月	マイクロリーダプリンターのサービス開始
48年(1973) 4月	上京分館館外貸出実施	〃 8月	「連絡協力車だより」発刊
50年(1975) 3月	身体障害者用便所・スロープ新設	4年(1992) 9月	毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
〃 5月	本館(閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設)内装工事	5年(1993) 3月	「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
	本館閲覧室を完全開架式に切替	6年(1994) 3月	「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」を京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
51年(1976) 4月	本館閲覧用目録作成に着手	7年(1995) 2月	阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工事実施
〃 6月	京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く	〃 5月	老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室1階への移動等)実施。5月1日から2箇月間臨時休館(7月3日再開館)
〃 7月	児童室改修工事		
53年(1978) 3月	本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備)		
	本館閲覧用目録整備完了		
54年(1979) 3月	本館書庫改修工事		
〃 4月	国会図書館からの図書貸出制度発足		
	本館自習室閉鎖		
〃 11月	「専門情報機関要覧」刊行		
56年(1981) 9月	移動図書館用電動集密書架設置		
〃 12月	伏見分館改修工事		
57年(1982) 7月	障害者サービス(対面朗読)実施		
58年(1983) 2月	生涯教育推進事業として読書推進講座実施		

平成7年(1995)	8月	連絡協力車北部コースの運行を月2回に拡充(全市町村月2回運行)	平成13年(2001)	2月	仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了
	〃 9月	一般図書室の天井一部損傷による補修工事实施。9月18日から臨時休館(10月16日再開館)		〃 4月	機構改正により2課制(総務課：2係、資料課：4担当)施行 京都府立図書館の管理運営に関する規則(平成13年京都府教育委員会規則第1号)施行
	〃 12月	京都府社会教育委員会が京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出		〃 5月	京都府立図書館個人貸出規程等、各種規程施行 開館式 京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信開始 一般開館 連絡協力車の毎週運行開始
8年(1996)	3月	平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上		〃 6月	京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始
	〃 9月	新府立図書館建設基本計画の概要を発表 9月補正予算に基本設計費等を計上	14年(2002)	4月	「子ども読書絵てがみコンテスト」実施
9年(1997)	3月	平成9年度当初予算に実施設計費等を計上	15年(2003)	2月	館内完全分煙実施
	〃 4月	新館整備のため本館を休館	18年(2006)	4月	インターネット貸出待ち登録サービス開始
	〃 9月	本館仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了		〃 5月	電話による貸出延長サービス開始
平成10年(1998)	3月	府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了 平成10年度当初予算に新館建設工事費等を計上		〃 12月	京都府図書館総合目録ネットワークに府内全市町村が参加
	〃 7月	総合資料館蔵書との一体的データ化作業開始	19年(2007)	3月	取寄せ申込みeサービス開始
	〃 9月	本館事務室の再移転(旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門校へ)		〃 4月	連絡協力車の一部の府立高校への巡回開始
	〃 11月	新府立図書館新築工事起工式	20年(2008)		源氏物語千年紀記念事業(小展示・パネル展等)開催
11年(1999)	2月	平成10年度近畿地区公共図書館研修開催		〃 5月	インターネット貸出延長サービス開始
	〃 3月	平成11年度当初予算に新築工事費等計上		〃 9月	学校支援セット貸出開始
	〃 6月	「日本目録規則1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」「日本著者記号表改訂版」採用	21年(2009)	3月	所蔵音声資料の音声目録CD-ROM(デイジー版)作成、配布
12年(2000)	3月	平成12年度当初予算に新築工事費等計上	21年(2009)	6月	府立図書館「岡崎」100周年記念事業(小展示・パネル展等)開催(～22年3月)
	〃 5月	国立国会図書館総合目録ネットワーク参加		〃 9月	府立図書館「岡崎」100周年記念パンフレット作成
	〃 10月	新館竣工		〃 11月	国立国会図書館関西館との連携(連絡協力車の運行)
	〃 11月	仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化 「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」施行(1日)	22年(2010)	4月	学校支援セット貸出小中用CD-ROM目録を作成、配付
				〃 9月	京都府立医科大学附属図書館と連携した府民講演会開催
				〃 10月	新着図書お知らせサービス開始

平成23年(2011) 4月	祝日開館を実施 学校支援ポータルサイト開設	平成29年(2017) 3月	京都教育大学附属図書館との相互貸借に関する連携協定締結 (運用29年4月～)
〃 8月	館内全面禁煙の実施	〃 4月	京都府立図書館協議会を設置 連絡協力車の市町村立図書館等への巡回を週2回に増便
〃 12月	京都大学研究者等と連携したサイエンスイベント開催	〃 10月	知的な交流の場「ナレッジベース」の試験運用開始
24年(2012) 4月	子ども読書本のしおりコンテスト実施	〃 11月	子どもへの読書活動支援事業開始
〃 8月	府立図書館サービス計画策定		京都市図書館との「本の相互返却サービス」の試行開始
〃 11月	図書館活用講座実施	〃 12月	マイナンバーカードを活用した「図書館共同利用システム」実証事業に参画
25年(2013) 3月	府立図書館のシンボルマークと和文ロゴタイプ作成	30年(2018) 4月	福知山公立大学メディアセンター、佛教大学附属図書館、府立医科大学附属図書館との相互貸借本格実施
〃 7月	24年度図書館評価(試行)を社会教育委員会議で報告		府議会図書館を窓口とした京都府庁への図書資料の配送の試験運用開始
〃 9月	学校支援セットの府立高校(非巡回校)への直送実施	〃 10月	京都工芸繊維大学附属図書館との相互貸借本格実施
26年(2014) 9月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 府民利用施設のあり方検証において「見直すべき施設」に区分	〃 11月	京都市図書館との「本の相互返却サービス」を「京都市図書館との返却本お預かりサービス」として本格実施
27年(2015) 4月	連絡協力車の全府立高校への巡回開始 サピエ／視覚障害者情報総合ネットワークのサービス開始	31年(2019) 2月	岡崎での開館110周年記念事業実施
〃 6月	府立図書館サービスの充実に向けた検討会議設置	〃 3月	京都府立大学附属図書館、花園大学情報センター(図書館)との相互貸借試行開始
28年(2016) 3月	図書館システム更新 府立図書館基本方針及び府立図書館サービス計画策定	〃 4月	京都府立大学附属図書館との相互貸借本格実施
〃 4月	機構改正により部課制(企画総務部:2課、図書サービス部:2課)施行 カーリル社と連携協定締結	令和元年(2019) 7月	SNS(Twitter)による情報発信開始
〃 7月	京都大学附属図書館との相互貸借試行開始(29年10月本格実施)	〃 9月	不登校児童生徒読書活動支援事業を開始
〃 9月	図書館協議会設置のため、京都府立図書館設置条例全部改正、京都府立図書館条例公布(29年4月1日施行)	2年(2020) 3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
〃 11月	京都府図書館総合目録ネットワークシステムの充実を図る産官学連携プロジェクト開始	〃 4月	花園大学情報センター(図書館)、京都ノートルダム女子大学図書館情報センター、京都橘大学図書館との相互貸借本格実施
〃 12月	京都府立図書館協議会委員の第1期委員公募開始 府内図書館等館長会議開催		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
29年(2017) 2月	全国の公立図書館初のクラウドソーシング開始	〃 5月	サービスを限定し再開 (当初は貸出・返却のみとしその後拡大)

令和 2年(2021) 10月	利用制限全面解除	
12月	京都外国語大学附属図書館との相互貸借試行開始	
3年(2021) 1月	一部利用制限（閲覧席削減等）	
〃 2月	郵送貸出サービス開始	
〃 3月	花園大学情報センター（図書館）との連携解消（双方合意）	
	図書館システム更新	
	府立図書館基本方針及び府立図書館基本方針及び府立図書館サービス計画（令和3年度～令和7年度）策定	
〃 4月	京都女子大学図書館との相互貸借試行開始	
〃 6月	京都外国語大学附属図書館との相互貸借本格実施	
〃 8月	府議会図書館への図書資料配送を本格運用	
〃 10月	旧館時代ルネサンス扉の恒久展示	
4年(2022) 1月	オンライン対面朗読試行開始	
〃 4月	オンライン対面朗読本格実施	
	京都女子大学図書館との相互貸借本格実施	
	電子書籍・オーディオブックサービス提供開始	
〃 6月	府立学校に電子書籍等サービスが利用できる専用IDの配付を開始	
5年(2023) 3月	図書館カード登録の電子申請開始	
〃 10月	集書院150年記念展実施	
〃 12月	「子どもの読書活動応援事業」で参加を希望する全ての府内の市町（組合）立（京都市立含む）、国立、私立の小中高特別支援学校・義務教育学校が対象に、京都府立図書館の電子書籍が閲覧できる、専用のIDを京都府教育委員会が配付を開始	
6年(2024) 1月	文化庁図書室への図書配送の運用開始	
〃 4月	花園大学情報センターと京都精華大学情報館との相互貸借試行開始	
7年(2025) 1月	花園大学情報センターとの相互貸借本格実施	
〃 4月	京都精華大学情報館との相互貸借試行本格実施	

2 歴代館長

氏名	在職期間
三宅 五郎三郎	明治 31 年 4 月 ～ 明治 33 年 3 月
原田 千之助	明治 33 年 3 月 ～ 明治 33 年 12 月
中道 貫一 (館長心得)	明治 34 年 1 月 ～ 明治 34 年 2 月
三宅 五郎三郎	明治 34 年 4 月 ～ 明治 37 年 3 月
湯浅 吉郎	明治 37 年 3 月 ～ 大正 5 年 5 月
北畠 貞顕	大正 5 年 10 月 ～ 昭和 15 年 11 月
内藤 乾吉	昭和 15 年 11 月 ～ 昭和 22 年 7 月
西村 精一	昭和 22 年 7 月 ～ 昭和 38 年 10 月
相馬 利雄	昭和 38 年 10 月 ～ 昭和 45 年 8 月
岩崎 彰之助	昭和 45 年 8 月 ～ 昭和 47 年 4 月
吉川 博明	昭和 47 年 4 月 ～ 昭和 48 年 6 月
庄林 二三雄	昭和 48 年 6 月 ～ 昭和 49 年 4 月
宮本 英男	昭和 49 年 4 月 ～ 昭和 50 年 3 月
布村 忠雄	昭和 50 年 4 月 ～ 昭和 55 年 4 月
長谷川 啓司	昭和 55 年 4 月 ～ 昭和 56 年 4 月
浜辺 一彦	昭和 56 年 4 月 ～ 平成元年 7 月
上田 将 (本庁指導部長兼任)	平成元年 7 月 ～ 平成元年 9 月
林 芳男	平成元年 9 月 ～ 平成 4 年 4 月
柴田 實	平成 4 年 4 月 ～ 平成 6 年 5 月
高木 多喜男	平成 6 年 6 月 ～ 平成 8 年 3 月
五十嵐 一郎	平成 8 年 4 月 ～ 平成 10 年 3 月
西山 隆史 (本庁指導部長兼任)	平成 10 年 4 月 ～ 平成 10 年 5 月
小山 雄一	平成 10 年 6 月 ～ 平成 13 年 3 月
中里 隆憲	平成 13 年 4 月 ～ 平成 16 年 3 月
津守 俊一	平成 16 年 4 月 ～ 平成 19 年 3 月
松田 定	平成 19 年 4 月 ～ 平成 21 年 3 月
勝間 喜一郎	平成 21 年 4 月 ～ 平成 24 年 3 月
宮野 文穂	平成 24 年 4 月 ～ 平成 28 年 3 月
丸川 修	平成 28 年 4 月 ～ 令和 3 年 3 月
山口 隆範	令和 3 年 4 月 ～ 令和 4 年 3 月
松本 一男	令和 4 年 4 月 ～

京都府立図書館基本方針

(令和3年4月改定)

図書館は、人々が知的で創造的な人生をおくるため、人類の文化遺産となる出版物等を適切に収集・保存し、様々なサービスにより提供する場です。

府立図書館は、この理念を踏まえ、急激な社会変化に対応していくため、歴史と大学のまち京都の立地を活かしながら、府内全域に均質な図書館サービスを提供することにより、府民の調査研究や知的活動の拠点となることを目指します。

I 府内全域の図書館等をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します

市町村立図書館・学校図書館等の活動を支援するとともに、各館と協力して、府内の図書館サービスの充実を図ります。また、府民に的確な情報を提供するため、市町村立図書館・学校図書館・大学図書館等をつなぎ、ハブとしての機能を果たします。

II 多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズに応えます

府立図書館の役割に応じた資料の収集を行うとともに、多様な文化資源に関する情報を取り扱います。また、様々な情報を求める人々が利用しやすい図書館サービスを提供し、幅広い調査研究のニーズや府民の知的好奇心に応えます。

III 大学等研究機関や文化施設等と連携するとともに、多様な議論の場を提供することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します

100年を超える府立図書館の歴史、文化施設が集中する岡崎という立地、大学のまち京都の特性を最大限に活かし、様々な機関と連携して事業展開を図るとともに、多様な議論の場を提供することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します。

京都府立図書館資料収集方針

(平成 28 年 12 月改正)

京都府立図書館は、創設以来百年を超える収集資料を継承し、府内の中核的図書館として、現在及び将来の利用者のために、多様かつ的確な情報により資料を選定し、収集し、保存する。

1 基本的な考え

- (1) 府民の調査研究の拠点及び生涯学習を支援する図書館としてふさわしい資料を収集する。
- (2) 府内図書館ネットワークのセンターとして、市町村立図書館及び学校図書館振興のための資料を収集する。
- (3) 京都府立京都学・歴彩館をはじめとする文化施設との連携を考慮し、資料を収集する。
- (4) 多様な意見のある事柄については、幅広い観点から資料を収集する。

2 収集する資料

- (1) 収集する資料の種類は、図書、逐次刊行物、映像・音響・電子資料、障害者向け資料等とする。
- (2) 収集部数は原則として 1 部とする。
- (3) 収集した資料は、原則として永年保存とする。

3 収集方法

購入、寄贈等により収集する。

4 資料収集の協議

重要事項については、収集委員会により協議する。

5 資料選定の具体的基準

収集する資料の選定については、別に定める資料収集基準による。

京都府立図書館サービス計画

(令和3年3月策定)

京都府立図書館では、「京都府立図書館サービス計画（令和3年度～令和7年度）を策定しました。

この計画は、平成27年度に策定した「京都府立図書館サービス計画（平成28年度～令和2年度）」が本年度末に終了することから、これまでの成果と課題を踏まえ、府民へのサービスの向上を図るため、今後5年間の新たなサービス計画を策定したものです。

■ 計画案のポイント

市町村立図書館・読書施設、学校図書館への支援、府民の調査研究支援を引き続き重要な柱として位置づけ、3つの基本方針と17の取組項目を記載

- I 府内全域の図書館等をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します
- II 多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズに応えます
- III 大学等研究機関や文化施設等と連携するとともに、多様な議論の場を提供することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します

■ 主な取組

(1) 大学等様々な機関と連携した取組

- 全ての府立学校の蔵書をインターネットを通じて検索し相互貸借することができる取組
- 大学生による「図書館応援チーム（仮称）」が企画・実施する取組
- 近隣文化施設と連携した取組

(2) 情報機器の普及に対応する取組

- 閲覧室にWi-Fi環境を整備するなど調査研究に役立つ取組
- 電子書籍をスマートフォン等情報通信機器により利用できる取組
- 利用案内や調べ方案内のオープンデータでの提供

(3) 非常時における取組

- 市町村立図書館・読書施設等のニーズを踏まえた職員が参加しやすい研修（オンラインを含む）
- インターネット等による図書の郵送貸出等の取組
- 電話やインターネット等によるレファレンスサービス

事業概要（令和6年度のまとめ）

令和7年7月発行

発行者 京都府立図書館

〒606－8343 京都市左京区岡崎成勝寺町

TEL (075) 762-4655 (代)

FAX (075) 762-4653

URL <https://www.library.pref.kyoto.jp/>